

**IBM SPSS Modeler - Mac
OS インストール**

IBM

目次

第 1 章 インストール概要	1
システム要件	1
ライセンス タイプ	1
インストール	1
ダウンロードされたファイルからのインストール	1
インストールに関する注意事項	1
第 2 章 許可ユーザー ライセンスのインストール	3
認証コード	3
製品へのライセンス適用	3
ライセンス認証ウィザードの使用	3
ライセンスの表示	4
SPSS Modeler のアップデート、変更、および更新	4
第 3 章 同時ユーザー ライセンスのインストール	5
ライセンス認証ウィザードの使用	5

コンピューター ライセンスのチェックアウト/チェックイン	5
第 4 章 インストールの後で	7
IBM SPSS Modeler を IBM SPSS Statistics と連携させるための構成	7
データベース・アクセス	8
フィックスパックの適用	9
アンインストール	9
特記事項	11
商標	12
製品資料に関するご使用条件	12

第 1 章 インストール概要

以下に示すのは、IBM® SPSS® Modeler version 18.1 を Mac OS にインストールする手順です。

システム要件

システム要件を確認するには、<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/prodguid/v1r0/clarity/index.jsp>を参照してください。

ライセンス タイプ

ライセンスには、以下の 2 種類があります。

許可ユーザー ライセンス

ご自身で IBM SPSS Modeler を購入した個人のお客様は、許可ユーザー ライセンスを所有します。許可ユーザー ライセンスには、製品の個別のインストールを認証する関連コードが含まれています。

組織の一員である場合は、指定したユーザー数に対して、1 つの許可ユーザー ライセンスを所有することができます。認証数が指定数を上回るまで、同じ認証コードが有効です。

同時ユーザー ライセンス

同時ユーザー ライセンスは、指定した人数のユーザーによって同時に (コンカレントに) 使用できる「フローティング」ライセンスです。製品の個別のインストールの認証は行なわれません。代わりに、製品は、ライセンス マネージャ と呼ばれるアプリケーションによってサーバー マシン上で認証されます。製品が始動すると、サーバー マシンと通信し、ライセンスが現在使用可能であるかどうかチェックされます。

インストール

ダウンロードされたファイルからのインストール

1. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストーラのディスク イメージをマウントします。
2. マウントされたディスク イメージで、インストーラ ファイルをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。特別な指示については、『インストールに関する注意事項』を参照してください。

インストールに関する注意事項

このセクションには、このインストールに関する特別な指示が記載されています。

インストーラの言語。インストーラの最初のパネルに、インストーラの言語についてのプロンプトが表示されます。デフォルトでは、ご使用のロケールに一致する言語が選択されます。インストーラを別の言語で表示する場合は、その言語を選択します。前に進む準備ができたなら、「OK」をクリックします。

SPSS Modeler の旧バージョン。インストールによって SPSS Modeler の旧バージョンが自動的に上書きされることはありません。旧バージョンは手動でアンインストールする必要があります。

第 2 章 許可ユーザー ライセンスのインストール

認証コード

認証コードが必要になります。場合によっては、複数の認証コードを使用することがあります。その場合は、すべての認証コードが必要になります。

認証コードを取得するための個別の手順については、既に受け取っているはずですが、認証コードが見つからない場合は、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/support/clientcare.html> にアクセスしてカスタマー・サービスに連絡してください。

製品へのライセンス適用

ライセンス認証ウィザードを実行して、製品のライセンス認証を行なう必要があります。

注: ライセンスは、ご使用のコンピュータのハードウェアにロック コードで関連付けられます。ご使用のコンピュータまたはそのハードウェアを置き換えた場合、ロック コードが新しくなるため、認証プロセスを繰り返す必要があります。ご使用のコンピュータのイメージを再作成した場合も同様です。使用許諾契約書で指定された認証許容数を越えたことがわかった場合は、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/support/clientcare.html> にアクセスして、カスタマー サービス チームに連絡して支援を要請してください。また、生成された認証コードでは CPU 数が指定されていることに注意してください。CPU 数が認証コードで指定された数よりも多いと、警告メッセージが表示され、認証から 30 日後に製品は動作を停止します。

重要: ライセンスは時刻の変更を認識します。システム時刻を変更する必要があると、その後に製品を実行できなくなった場合は、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/support/clientcare.html> にアクセスし、カスタマー サービス チームに連絡して支援を要請してください。

ライセンス認証ウィザードの使用

1. 「ようこそ」ダイアログで「製品のライセンス認証 (License Product)」をクリックするか、SPSS Modeler アプリケーション フォルダ内の「ライセンス認証ウィザード」アイコンをクリックして、ライセンス認証ウィザードを起動します。
2. 「許可ユーザー ライセンス」を選択します。プロンプトが出されたら、1 つ以上の認証コードを入力してください。

認証コードを取得するための個別の手順については、既に受け取っているはずですが、認証コードが見つからない場合は、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/support/clientcare.html> にアクセスしてカスタマー・サービスに連絡してください。

ライセンス認証ウィザードから、認証コードが IBM Corp. にインターネット経由で送信され、ライセンスが自動的に取得されます。ご使用のコンピュータがプロキシの内側にある場合は、「プロキシ サーバーを通じたインターネットへの接続」をクリックし、適切な設定を入力してください。

認証プロセスが失敗した場合、E メール メッセージの送信を求められます。E メール メッセージを送信するために、デスクトップの E メール プログラムを使用するか、Web ベースの E メール アプリケーションを使用するかを選択します。

- デスクトップ オプションを選択した場合、適切な情報で新しいメッセージが自動的に作成されます。
- Web ベースのオプションを選択した場合、Web ベースの電子メール プログラムで新しいメッセージを作成する必要があります。その後ライセンス認証ウィザードからメッセージ・テキストをコピーし、E メール アプリケーションに貼り付けます。

E メール メッセージを送信し、ライセンス認証ウィザードに表示されるプロンプトに応答します。E メール メッセージは、即座に処理されます。「ライセンス・コードを入力」をクリックして、受信したライセンス・コードをすべて入力します。既にライセンス認証ウィザードを閉じている場合、ウィザードを再起動して「許可ユーザー ライセンス」を選択します。「コードの入力」パネルで、受け取ったライセンス・コードを追加し、「次へ」をクリックしてプロセスを完了します。

ライセンスの表示

ライセンスは、ライセンス認証ウィザードを再起動することによって表示できます。最初のパネルには、ライセンス情報が表示されます。終了したら「キャンセル」をクリックします。キャンセルを確認するためのプロンプトが出されたら「はい」をクリックしてください。

SPSS Modeler のアップデート、変更、および更新

追加のオプションを購入したり、ライセンスを更新したりすると、新しい認証コードが送られてきます。認証コードの使用方法については、3 ページの『製品へのライセンス適用』を参照してください。

第 3 章 同時ユーザー ライセンスのインストール

ライセンス認証ウィザードの使用

1. 「ようこそ」ダイアログで「製品のライセンス認証 (**License Product**)」をクリックするか、SPSS Modeler アプリケーション フォルダ内の「ライセンス認証ウィザード」アイコンをクリックして、ライセンス認証ウィザードを起動します。
2. ライセンス マネージャのインストール ディレクトリにある *law.exe* を実行して、ライセンス認証ウィザードを起動します。
3. 「同時ユーザー ライセンス」を選択します。プロンプトが出されたら、ライセンス マネージャのサーバー名または IP アドレスを入力します。これは、ネットワーク ライセンス マネージャが稼動しているサーバーの IP アドレスまたは名前です。複数のアドレスまたは名前がある場合は、ティルドで区切ります (例えば、*server1~server2~server3*)。この情報がわからない場合は、管理者に連絡してください。

コンピューター ライセンスのチェックアウト/チェックイン

ネットワーク ライセンスでは、通常は、SPSS Modeler を実行するためにネットワークに接続する必要があります。管理者によってコンピューター ライセンスが有効化されている場合は、コンピューター ライセンスをチェックアウトすることにより、ネットワークに接続していないときにネットワーク ライセンスを使用できます。例えば、電車内でネットワーク接続できないときに SPSS Modeler を実行したい場合があります。ネットワークを切断して電車に乗る前に、一定時間を限度としてコンピューター ライセンスをチェックアウトできます。この時間が過ぎる前に、ネットワークに再接続して、ライセンスを再度チェックインする必要があります。そうしないと、SPSS Modeler は動作しなくなります。

ネットワーク ライセンスを有効にし、構成するのは管理者です。この機能を使用したいが使用できない場合、管理者に問い合わせてください。

重要: ネットワークに再接続したことにより SPSS Modeler を実行できる場合でも、ライセンスを再度チェックインしてください。これにより、他のユーザーがコンピューター ライセンスを利用できるようになります。

ライセンスのチェックアウト

1. インストール ディレクトリにある *Commuter Utility* をダブルクリックします。
2. チェックアウトするライセンスを選択します。
3. 「期間」ボックスに、ライセンスをチェックアウトする日数を入力します。管理者によって設定された制限があります。
4. 「チェックアウト」 をクリックします。

「期間」で指定した日数が経過すると、コンピューター ライセンスの期限が切れます。ライセンスは手動でいつでもチェックインできます。

次の形式のメッセージが表示される場合があります。

```
Error while checkout with error code: <code>
```

一般的なコードは次のとおりです。

コード	意味
77	すべての使用可能なライセンスがチェックアウトされています。
1402	別のユーザー用に予約されているライセンスをチェックアウトしようとした。

ライセンスのチェックイン

1. インストール ディレクトリにある *Commuter Utility* をダブルクリックします。
2. チェックインするライセンスを選択します。チェックアウトしたライセンスには、チェック マークが付けられています。
3. 「チェックイン」をクリックします。

第 4 章 インストールの後で

SPSS Modeler に関連するインストール済みコンポーネントによっては、メインのソフトウェアをインストールした後に、追加の構成を行わなければならない場合があります。例えば、データベースに接続する場合や、IBM SPSS Statistics と互換性があるデータを使用する場合です。

IBM SPSS Modeler を IBM SPSS Statistics と連携させるための構成

IBM SPSS Modeler で Statistics 変換ノード、Statistics モデル ノード、Statistics 出力ノードを使用できるようにするには、ストリームが実行されているコンピュータに IBM SPSS Statistics のコピーがインストールされ、ライセンスが交付されている必要があります。

ローカル (スタンドアロン) モードで IBM SPSS Modeler を実行中の場合、IBM SPSS Statistics のライセンスが付与されたドライバをローカル コンピュータに搭載されている必要があります。

SPSS Modeler Client のインストールが完了したら、IBM SPSS Statistics との連携を構成する必要もあります。クライアントのメイン メニューから以下を選択します。

「ツール」 > 「オプション」 > 「ヘルパー アプリケーション」

次に、「IBM SPSS Statistics」タブで、使用するローカルの IBM SPSS Statistics インストール済み環境の場所を指定します。詳しくは、「入力ノード、プロセス・ノード、出力ノード」のガイドまたはオンライン ヘルプで、ヘルパー アプリケーションを参照してください。

また、リモートの IBM SPSS Modeler Server に対して分散モードで実行する場合は、IBM SPSS Modeler Server ホストでユーティリティーを実行して `statistics.ini` ファイルを作成し、IBM SPSS Statistics Server のインストール パスを IBM SPSS Modeler Server に指定する必要があります。ライセンス設定を行うには、Windows の場合、IBM SPSS Modeler Server bin ディレクトリに移動して、コマンド プロンプトで次の文を実行します。

```
statisticsutility -location=<statistics_installation_path>/bin
```

また、UNIX の場合は、次を実行します。

```
./statisticsutility -location=<statistics_installation_path>/bin
```

IBM SPSS Modeler Server でユーティリティーを実行した後、IBM SPSS Modeler Server /bin ディレクトリにある `statistics.ini` ファイル内に配置する内容の例を以下に示します。

```
[LOCATION]  
STATISTICS_PATH=C:\Program Files\IBM\SPSS\StatisticsServer\<version>
```

IBM SPSS Statistics のライセンス認証されたコピーがローカル マシンにない場合でも、IBM SPSS Statistics サーバーに対して Statistics ファイル ノードを実行できますが、他の IBM SPSS Statistics ノードを実行しようとするときエラー メッセージが表示されます。

データベース・アクセス

データベースを読み書きするには、ODBC データ ソースがインストールされていて、該当するデータベースに対して必要に応じて読み取り権限や書き込み権限が設定されている必要があります。IBM SPSS Data Access Pack には、この目的で使用できる ODBC ドライバーが含まれています。また、これらのドライバーは、ダウンロード サイトから入手できます。ODBC データ ソースの権限の作成または設定についてわからないことがある場合は、データベース管理者に問い合わせてください。

サポートされている ODBC ドライバ

IBM SPSS Modeler での使用がサポートおよびテストされているデータベースおよび ODBC ドライバの最新情報については、当社サポート サイト (<http://www.ibm.com/support>) にある製品互換性マトリクスを参照してください。

ドライバをインストールする場所

注: ODBC ドライバは、処理が実行される各コンピュータにインストールして設定する必要があります。

- ローカル (スタンドアロン) モードで IBM SPSS Modeler を実行する場合は、ドライバをローカル コンピュータにインストールする必要があります。
- IBM SPSS Modeler をリモートの IBM SPSS Modeler Server に対して分散モードで実行する場合、ODBC ドライバは IBM SPSS Modeler Server がインストールされたコンピュータにインストールする必要があります。UNIX システムの IBM SPSS Modeler Server を使用している場合は、このセクションの『UNIX システムの ODBC ドライバの設定』も参照してください。
- IBM SPSS Modeler と IBM SPSS Modeler Server の両方から同じデータ ソースにアクセスする必要がある場合、ODBC ドライバは両方のコンピュータにインストールする必要があります。
- 端末サービスを介して IBM SPSS Modeler を実行する場合、ODBC ドライバは IBM SPSS Modeler がインストールされた端末サービス サーバーにインストールする必要があります。

UNIX システムの ODBC ドライバの設定

デフォルトでは、DataDirect Driver Manager は UNIX システムの IBM SPSS Modeler Server 向けには設定されていません。DataDirect Driver Manager ロードするよう UNIX を設定するには、次のコマンドを入力します。

```
cd <modeler_server_install_directory>/bin
rm -f libspssodbc.so
ln -s libspssodbc_datadirect.so libspssodbc.so
```

これにより、デフォルトのリンクが削除され、DataDirect Driver Manager へのリンクを作成します。

注: 一部のデータベースでは、SAP HANA ドライバまたは IBM DB2 CLI ドライバを使用するために UTF16 ドライバ ラッパーが必要です。DashDB には、IBM DB2 CLI ドライバが必要です。UTF16 ドライバ ラッパーのリンクを作成するために、代わりに以下のコマンドを入力します。

```
rm -f libspssodbc.so
ln -s libspssodbc_datadirect_utf16.so libspssodbc.so
```

SPSS Modeler Server を構成するには、以下の手順を実行します。

- modelersrv.sh に以下の行を追加することにより、IBM SPSS Data Access Pack の odbc.sh 環境ファイルをソースとして使用するよう SPSS Modeler Server の起動スクリプト modelersrv.sh を構成します。
./<pathtoSDAPinstall>/odbc.sh

<pathtoSDAPinstall> は、IBM SPSS Data Access Pack のインストール済み環境の絶対パスです。

2. SPSS Modeler Server を再起動します。

さらに、SAP HANA および IBM DB2 の場合にのみ、接続中にバッファがオーバーフローしないように、odbc.ini ファイル内の DSN に以下のパラメータ定義を追加します。

DriverUnicodeType=1

注: libspssodbc_datadirect_utf16.so ラッパーは、SPSS Modeler Server がサポートする他の ODBC ドライバにも対応しています。

フィックスパックの適用

操作で問題が発生しないようにするため、ご使用の製品を常に最新のフィックスパック レベルにしておいてください。フィックスパックの説明に従い、必要なインストール前のタスクとインストール後のタスクをすべて実行してください。

アンインストール

1. インストール フォルダをごみ箱にドラッグします。デフォルトのインストール フォルダは、/Applications/IBM/SPSS/Modeler/18.1 です。
2. ホーム フォルダで、Library/Preferences を参照します。
3. com.ibm.spss.plist をごみ箱にドラッグします。
4. ホーム フォルダで、./IBM/SPSS/Modeler/18.1 を参照します。
5. Eclipse フォルダをごみ箱にドラッグします。
6. 必要に応じて、インストールした拡張コマンドを削除します。そのためには、ext フォルダを ./IBM/SPSS/Modeler/18.1 の Home フォルダからごみ箱にドラッグします。
7. ごみ箱を空にします。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing

IBM Corporation

North Castle Drive, MD-NC119

Armonk, NY 10504-1785

US

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向性および指針に関する記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するものにすぎません。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用条件

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

商業的使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入 関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。



Printed in Japan